

健和会病院 広報誌 2021年2月 NO.7 発行

社会医療法人 健和会
健和会病院
KENWAKAI



編集・発行
健和会病院広報委員会
Kenwakai.or.jp
info@kenwakai.or.jp

ゆめかなえ



腎生検で腎臓の治療につなげる
原 悠太 医師

腎生検で早期発見、早期治療を



原 悠太医師インタビュー

健和会病院では、2020年8月より腎生検を開始しました。腎生検とはどんな検査なのか、腎臓内科の原悠太医師にお話を聞きました。

—腎生検とはどういうものですか？

原：超音波で腎臓の場所を確認して、腎臓の一部の組織をボールペンの芯ほどの針で採取します。採取した組織を顕微鏡で観察して、腎臓病の診断を正確に行うものです。腎生検により、①腎臓の病気の原因、重症度がわかり②病気の見通しを予測することができ③最適な治療法を提案できます。腎臓病の検査には、血液検査・尿検査・超音波・CT検査などありますが、腎生検がもっとも正確な診断ができるのです。癌と同様、腎臓病も早期発見、早期治療が大切です。

—2泊3日の入院が必要なんですね。

原：4泊5日としている施設もありますが、若い世代の人や働いている人が腎生検の対象になることが多いので、生活面の負担を軽減し検査を受けやすくしてもらえるように、2泊3日にしています。当院での腎生検対応者は18歳以上としています。成人と同等の体格で理解良好な場合は小児も可能です。

—腎生検をするまでの流れを教えてください。

原：地域や職場での健診や定期通院中に腎機能が悪いなどと指摘されると、地元の保健師さんやかかりつけ医から、当院のCKD(慢性腎臓病)外来を紹介していただきます。紹介後は血液検査や尿検査を詳しく行います。腎生検を行う場合、安全に検査をするために腎臓のかたちを見ないといけないので、超音波もしくはCT撮影をします。安全が確認できたら、患者さんと検査内容について話し合いが始まります。



腎生検中の原医師

腎生検の対象になるのは、尿蛋白と尿潜血の両方が持続するもの、尿蛋白が多量に出ているもの(ネフローゼ症候群など)、原因不明の急性腎障害などです。こうした場合、症状は似ていても病気によって治療法や予後が大きく異なるので、正確な診断が必要になります。ただし、糖尿病や高血圧など長年治療されてきている方の慢性腎不全や、少量の尿蛋白単独のものは、腎生検のメリットが少ないため対象にはならない場合が多いです。

腎生検は緊急性の高い検査ではありませんが、検査で病気の原因がわかれば治療方針が決まってきます。また、今後特別な治療が必要ないという結果になったとしても現在の腎臓の状態(障害の程度など)がある程度わかるので、腎機能の予後予測ができます。

—痛そうな感じがしますが…

原:腎臓に直接針を刺して組織を採取してくる検査で

すが、その前に表面に局所麻酔をします。麻酔をするには、注射するときと同じくらいの太さの針を使うので、その時にちょっと痛いくらいです。組織を採取する時は、腎臓は痛くないですよ。ただ、検査終了後の安静が、少し大変かもしれません。

月曜日の10時に入院していただき、当日の14時から腎生検を開始します。検査後から翌朝まではベッド上で安静にしてもらいます。入院2日目は状態を確認後、病棟内の歩行ができるようになります。3日目は退院できますが、引き続き治療が必要な場合は入院を継続してもらいます。退院後は安全のため約1~2週間腰に負担のかかる動作は控えていただきますが、基本的な日常生活は問題ありません。

—これからの抱負を教えてください。

原:小さい頃からお世話になってきた、この地域の方たちのお役に立ちたいと思っていました。今、こうして地域医療に携われている事がとてもうれしいです。今後もさらに研鑽を積んでいきたいと思っています。

■原 悠太(はら ゆうた)医師経歴

下伊那郡喬木村出身 実家はイチゴ農家

2013年 信州大学医学部卒業

長野中央病院などで初期研修

信州大学医学部附属病院第2内科にて専門研修

2020年4月 健和会病院着任 副医長

飯田高校サッカー班・信州大学ラグビー部にて活動

趣味:スポーツ観戦

■専門分野

日本腎臓病学会認定腎臓専門医

日本透析医学会認定透析専門医

原 悠太医師 腎臓内科のご案内

第1,3週 月曜日 午後

毎週 木・金曜日 午前

予約センター TEL.0265-23-3115(代表)

皮膚の潰瘍は、形成外科へ

—生活の質の向上を患者さんのために—

形成外科は、皮膚・皮下のできもの（腫瘍）ケロイド等の傷痕・熱傷といった皮膚の外科的治療が主体となりますが、診療対象は広く、顔面の骨折・眼瞼・爪・わきが等も扱っています。

今回は、慢性・難治性の創傷の治療に用いられる「局所陰圧閉鎖療法」について紹介します。

皮膚の慢性潰瘍には、糖尿病性潰瘍、静脈性潰瘍、術後の離開創等があり、特に骨や腱が露出している場合に、既存の方法では治療に難渋することが少なくありません。このような場合に、「局所陰圧閉鎖療法」が有効な手段となります。この治療法は、簡単に言えば創部を密閉して吸引するというもので、創面の保護、肉芽形成の促進、浸出液と感染性老廃物の除去を図り、創傷治癒を促すものです。

具体的には、スポンジ状のフォームを創部の大きさに合わせて当て、上からフィルム材を貼付し、ここにチューブを付け、専用の器械に接続して吸引し陰圧状態を作ります。創部の大きさや、深さ、浸出液の量などによっても違いますが、治療は2週間～最大4週間続けます。一方、創が小さい場合、外来で通院しながら管理ができるコンパクトな器械もあります。

また、潰瘍が大きい場合、局所陰圧閉鎖療法の後に植皮術を行う事により、一般の保存的治療で治癒までに数か月かかるものが、約1ヶ月で閉鎖可能となることがあります。

当院では2010年より、形成外科医師と皮膚・排泄ケア認定看護師が中心になり治療を行っていますが、2017年には創内を洗浄する機能を追加したシステムが登場し、治療や管理が難しい細菌感染創まで適応が拡大しました。

(矢高森人医師)

形成外科 予約診療のご案内

形成外科 矢高 森人医師

毎週 月・金曜日 午前

毎週 火・水曜日 午後

予約センター TEL.0265-23-3115(代表)

左下腿血腫後の皮膚軟部組織欠損に陰圧閉鎖療法を行い、2週間で著明な改善がみられた。

(a)治療開始前

(b)治療機器装着時

(c)治療終了時(2週間後)



ご相談ください。

脳卒中等の後遺症※1 手足のつっぱり(痙縮)。

※1 一脳梗塞、脳出血(脳溢血)、くも膜下出血などの脳の血管に起こる疾患の総称を脳卒中といいます。

ボトックスはボツリヌス毒素から製剤化された注射薬で、顔面や眼瞼の痙攣、頸部や手足の痙縮(筋肉の過剰な緊張・こわばり・つっぱり)を治療する薬剤です。日本では1996年から使用できるようになり、手足の痙縮に対しては2010年から保険適用になっています。

手足の痙縮は脳卒中や外傷性脳損傷などの後遺症で見られますが、過度の痙縮は日常動作の悪化の原因となります。ボトックス治療は筋肉内に薬剤を注入して痙縮を和らげ、動きを滑らかにする治療です。当院では手足の痙縮に対して年間約20件のボトックス治療を行っていますが、手指や足の細かい筋肉の治療では、超音波検査で筋肉を確認しながら行っています。また治療効果を高めるために、注射後に1~2週間のリハビリテーションを行っています。強い痙縮でお困りの方は是非一度ご相談ください。

(脳神経外科 北原正和医師)



脳神経内科・脳神経外科 予約診療のご案内

脳神経内科 牛山 雅夫医師

脳神経外科 北原 正和医師

地域連携室 TEL.0265-23-3269(直通)



保険証を持っていない。

国民健康保険の短期保険証、資格証明書が発行されている。

病気や障害などで収入がなくなって困っている。

リストラや失業のため一時的に収入がなくなって困っている。

医療費の支払いをすると生活が困難になる。

※普段の生活に影響がないよう守秘義務を守ります。
※社会福祉法 第2条第3項第9号に基づいて実施。

無料または低額で診療を受けることができます

最初に審査を受けていただきますが、制度利用の可否にかかわらず、必要な治療をおこなっていきます。
初めての方も安心して受診してください。

ご相談は
お気軽に

☎ 0265 23-3115

「誰もが安心してかけられる病院」をめざして
社会医療法人 健和会 健和会病院



外来診療体制表

2021年2月1日 現在

			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
内科	午前	当日受付	小林 奈津子 <small>(消化器内科)</small> 鷺見 順 教 牛 山 雅 夫	牧内 <small>(11時迄)(循環器内科)</small> 伊 壺 友 希 鷺見 順 教	小平睦月 <small>(循環器内科)</small> 前澤 浩 <small>(第2週)</small> 白田真帆 <small>(信大)</small>	関口恭弘 <small>(消化器内科)</small> 八 木 ひかる 原 悠太 <small>(腎臓内科※1)</small>	塚平俊久 <small>(消化器内科)</small> 八 木 ひかる 原 悠太 <small>(腎臓内科※1)</small>	交代制
		予約診療		平 林 直 章	北 原 明 倫 白田真帆 <small>(信大)</small>	北 原 明 倫	伊 壺 友 希 鷺見 順 教	
	午後	予約診療	鷺見 順 教 伊 壺 友 希		北 原 明 倫	伊 壺 友 希 <small>(第1・2・4・5週)</small>	八 木 ひかる 北 原 明 倫	
		夜間	予約診療		塚平俊久 <small>(第2週)</small> 清水信明 <small>(第2週)</small>		熊谷悦子 <small>(第1週)</small>	
循環器	午前	予約診療	小平睦月 <small>(第1・3・5週)</small>	牧 内 雅 信 小 平 睦 月	牧 内 雅 信	牧 内 雅 信 小 平 睦 月 <small>(第2・4週)</small>	牧 内 雅 信 小 平 睦 月	清水信明 <small>(第4週)</small>
	午後	予約診療			清 水 信 明 <small>(第1・3・4・5週)</small>			
消化器内科	午前	予約診療	塚 平 俊 久	関 口 恭 弘	塚 平 俊 久 関 口 恭 弘	塚 平 俊 久 小 林 奈 津 子		関口泰弘 <small>(第2週)</small> 塚平俊久 <small>(第4週)</small>
	午後	予約診療				塚 平 俊 久		
脳神経内科	午前	予約診療			牛 山 雅 夫	牛 山 雅 夫	牛 山 雅 夫	牛山雅夫 <small>(第3週)</small>
	午後	予約診療	牛 山 雅 夫					
呼吸器内科	午前	予約診療						八木ひかる <small>(月2回)</small>
	午後	予約診療			前 澤 浩			
腎・内分泌	午前	予約診療	熊 谷 悦 子					
	午後	予約診療	熊谷悦子 <small>(DM)</small> <small>(第2・3・4・5週)</small> 原悠太 <small>(第1・3週※1)</small>	熊 谷 悦 子 <small>(CAPD) 第1・3週</small> <small>(HDD) 第2・4週</small>	熊 谷 悦 子 <small>(第1・2・3・5週は</small> <small>C K D 外来あり)</small>		横 田 昌 <small>(第1・2・4・5週)</small>	熊谷悦子 <small>(第1週)</small>
嚥下外来	午後	予約診療		福 村 直 毅				
整形外科	午前	予約診療	平 林 直 章					
もの忘れ外来	午前	予約診療				牛 山 雅 夫		
	午後	予約診療	北 原 正 和					
精神科	午前	予約診療			服 部 美 秀			服部美秀 <small>(月1回)</small>
	午後	予約診療			服 部 美 秀			
脳神経外科	午前	予約診療		北 原 正 和		北原正和 <small>(第1・3・5週)</small>	北 原 正 和	
	午後	予約診療		北原正和 <small>(第1・3週)</small>	前 澤 浩	北 原 正 和		
外科	午前	当日受付	本 田 晴 康 熊 谷 嘉 隆	赤 澤 智 之 本 田 晴 康 熊谷嘉隆 <small>(第2・5週)</small> 熊谷 <small>(振動病) 第4週</small>	川 田 崇 雄 熊谷嘉隆 <small>(振動病)</small> 第1・3週	川 田 崇 雄 津 澤 豊 一 熊谷嘉隆 <small>(第3・4・5週)</small>	津 澤 豊 一 赤 澤 智 之	熊谷嘉隆/川田崇雄 本田晴康 <small>(第4週)</small>
		予約診療	熊谷嘉隆 <small>(第2・4週)</small>	熊 谷 嘉 隆	熊谷嘉隆 <small>(第5週)</small>	熊谷嘉隆 <small>(第2・4週)</small>		
	午後	予約診療	熊谷嘉隆 <small>(第2・4週)</small>	熊 谷 嘉 隆	熊谷嘉隆 <small>(第5週)</small>	熊谷嘉隆 <small>(第2・4週)</small>		
乳腺外来	午前	予約診療	本 田 晴 康 <small>(偶数月・第3週)</small> 赤 澤 智 之 <small>(奇数月・第3週)</small>					
肛門外来	午後	予約診療					本 田 晴 康 <small>(第2・4週)</small>	
泌尿器科	午前	当日受付	熊 崎 匠	熊 崎 匠		熊 崎 匠	熊 崎 匠	熊 崎 匠
形成外科	午前	予約診療	矢 高 森 人				矢 高 森 人	
	午後	予約診療		矢 高 森 人	矢 高 森 人			
小児科	午前		和 田 浩	和 田 浩	和 田 / 鷺 見	和 田 浩	和 田 浩	和 田 / [休診]
	夕方		和 田 浩				和 田 浩	
禁煙外来	午前	予約診療				八 木 ひ かる		

※1-原悠太医師の2月診療は休診させていただきます。予めご了承ください。

